



自分たちで作った  
人工衛星を  
宇宙へ飛ばそう

## 手作りの人工衛星を宇宙へ

**香**

川大学と地域の企業や専門家が協力し、手作りの人工衛星を打ち上げるプロジェクト STARS は、2009年、1号衛星「KUKAI」の打ち上げに成功しました。現在は、宇宙ゴミ除去技術の実験を行う2号衛星「STARS II」を製作中。同衛星は、今年度打ち上げ予定です。

学内のプロジェクトメンバーは、知能機械システム工学科・能見研究室の7名。何よりも機械作りが好きという根矢健嗣さんや、衛星開発に関わりたくて高専から編入してきた中川隼佑さんなど、個性的なメンバーが集まりました。

### 先輩の思いを引き継いで

研究室では、フィルム型アンテナ担当、姿勢制御のためのカメラ担当など各人の役割を分担し、それぞれ別々に製作に打ち込んでいます。中には、1週間かけてネジ強度の改善策を模索

し続けたメンバーもいます。宇宙で人工衛星を思い通りに動かすために、求める結果が出るまで試行錯誤を続けるのは当然ですが、打ち上げ期限も迫っています。時間との闘いの中での作業は続きます。

外部協力者とのやりとりもメンバーの仕事です。例えば根矢さんは、宇宙に打ち上げた衛星が稼働する様子を撮影するため、富山と北海道の天文台から協力を取り付けました。先方への訪問、状況報告など、慣れない仕事の中で「自分でも知らなかったコミュニケーション能力を発見できた」と言います。

これほど情熱を傾けるのは、「今回のプロジェクトの開発に関わりながら、自分の手で打ち上げられなかった先輩の思いを引き継いでいるから」と話すメンバーたち。開発に関わったすべての人の思いを載せて、STARS II はまもなく、宇宙へ飛び立とうとしています。

## 香川衛星開発プロジェクト STARS